



「信頼関係を築くポイント」～出会いは奇跡だ～

- 4月8日（木）に新入生を迎え、小学部10名、中学部14名、高等部26名、合計50名で、令和3年度のかづの校がスタートしました。子どもたちにとっては、新しい友達、新しい先生、新しい教室など、環境の変化に戸惑いを感じる季節です。初めてのことの連続で生活リズムをつかめなかったり、思い描いていた学校生活とのギャップに悩んだりすることが予想されます。同時に、新しいことにチャレンジしたり、気持ちをリセットしたりできるチャンスでもあります。「おだやかに・ゆるやかに・ていねいに」を指導の基本とし、学級が安全基地（居場所）になること、教師が安心基地（ホッとできる人）になる必要があります。そのためには、学級のルールづくりの前に、子どもとの信頼関係を築くことが大切です。（子どもはルールよりもラポールに従う！）



〈新年度スタート時に信頼関係を築くポイント〉

- 1 子どもが活躍できる係を用意して、認めたりほめたりする回数を増やす
 - 2 子どもの好きなことや得意なこと通じて、時間・場所・活動を共有する
 - 3 子どもから許可を求め、教師が「どうぞ」と伝えてから行動できるような関係になる
 - 4 子どもと笑顔で関わる（笑顔は最高のコミュニケーションであり、子どもの心を満たす）
- 世界に約77億人もいる人の中で、16名の新入生と、新しい先生たちと出会うことができました。これは奇跡とっていい出来事です。人と人が出会うことは、そこに見えない不思議な「縁」が働いているからだと思います。特別な「縁」を大切に、感染予防対策と充実した教育活動の両立を図りながら、「安全で明るく楽しい学校」「地域を笑顔と元気にする学校」「子どもの夢を叶える学校」の実現を目指します。

かづの校副校長 加賀谷 勝